

科目名	母性看護方法Ⅰ (ライフサイクル各期の看護) Maternity Nursing Ⅰ			担当教員 (研究室番号)	大平 肇子 (104) 杉山 泰子 (103) 岩田 朋美 (101) 市川 陽子 (105)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	2年次 後期	科目 区分	専門科目・生涯看護学			選択 区分	必修	単位数 (時間)	1 (15)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
												オープンクラス	否
科目 目的	女性の一生における健康を支援するために、思春期－成熟期－更年期－老年期の各ライフステージにおける母性の特性を理解する。また、リプロダクティブヘルスおよびヘルスプロモーションの視点から、各時期における対象の健康保持・増進、疾病の予防、健康への回復の過程における看護の方法を修得する。												
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。 (思考・判断)											
	関連するDP	C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現) D 様々な職種との連携において、看護専門職者としての役割を理解し、多職種による 協働活動に参加できる。(技能・表現)											
到達 目標	1. 女性のライフサイクルの特徴を述べることができる 2. 女性の各ライフステージにおける身体的・心理的・社会的特徴を述べることができる 3. 女性の各ライフステージにおける健康課題を述べることができる 4. 女性の各ライフステージにおける看護方法について討議することができる												
成績評価方法 (基準)		筆記試験 (70%)、レポート課題 (15%)、演習への参加度・取り組み (15%)											
再試験の有無と 基準等		有：不合格となった者全員を有資格とする。 再試験は筆記試験とし、レポート課題の成績は再試験の評価に加味しない。											
教科書		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学Ⅰ (医学書院)											
参考書等		適宜、紹介します。											
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と学生 への期待		学びを深めるためには、物事に対して疑問をもち、批判的思考を養うことが必要です。時代や文化に影響されやすい女性の健康課題について、興味・関心を持って学習に取り組むことを期待しています。グループ演習では一人ひとりが自己学習をした上で、グループの1員としての自覚を持ち、主体的に参加してください。											
備考		母性看護学概論の単位認定が受講の前提となります。母性看護方法Ⅱの先修条件となります。											
回	学習項目					学習内容					主担当 教 員	授業 方法	
1 回	女性のライフサイクルにおける健康					・母性看護の対象や女性のライフサイクル各期の形態・機能の変化、健康問題と看護について、リプロダクティブヘルス/ライツおよびヘルスプロモーションの視点から学習する。 ・プレコンセプションヘルスについて学ぶ。					大平	講義	
2 回	思春期・成熟期における健康課題と看護					・思春期・成熟期女性の特徴の理解をとおりて、各期の健康課題について学習する。 ・思春期における第二性徴や月経異常、望まない妊娠予防など、成熟期における遺伝相談や生殖器疾患などの看護方法などについて学ぶ。 ・女性の健康とワーク・ライフバランスについて学ぶ。					市川	講義	
3 回	更年期・老年期における健康課題と看護					・更年期・老年期女性の特徴の理解をとおりて、更年期症状やセクシュアリティ、次世代育成に関する看護について学ぶ。					市川	講義	
4 回	リプロダクティブ・ヘルスケア①					・性機能と性行動について学ぶ。 ・性感染症と予防について学ぶ。 ・各ライフサイクルにおける家族計画と受胎調節、性感染症とその予防を学ぶ。 ・ライフサイクルに応じた健康教育の在り方を考える。					大平	演習	
5 回	リプロダクティブ・ヘルスケア②					・災害時における女性の健康管理について学ぶ。 ・災害とジェンダー、災害時における看護の役割について学ぶ。					大平他	演習	
6 回	リプロダクティブ・ヘルスケア③					・子ども虐待予防のための支援について理解し、ヘルスケアにおける看護および多職種との連携について学ぶ。					杉山	演習	
7 回	リプロダクティブ・ヘルスケア④					・女性に対する暴力の実態を理解し、ヘルスケアにおける看護および多職種との連携について学ぶ。 ・女性の意思決定を支える看護について考察する。					杉山	演習	
8 回	リプロダクティブ・ヘルスに関する課題 多様な社会における母性看護学の役割					・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの社会的課題を検討する。 ・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの倫理的課題を検討する ・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの医学的課題を検討する					大平/学外 協力者	演習	

学 習 課 題
1回目課題（事前）：母性看護学概論で学習した理論についての復習
2～4回目課題（事後）：提示した資料に基づき、自己学習課題に取り組むこと
5回目課題（事後）：指定したテーマについて考察し、レポートにまとめ期日までに提出する。（A4、2ページ程度、両面印刷）
6～8回目課題（事後）：提示した資料に基づき、自己学習課題に取り組むこと

実務経験を活かした教育の取組
・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。